



Release

フランクフルト・アム・マイン

2024 年 6 月 30 日

ローラ・パドヴァーニ、チーフ・コンプライアンス・オフィサーおよび アンチ・フィナンシャルクライム（AFC）・オフィサーとしてドイツ銀行の 取締役会メンバーに就任

- 新たな任命は、コンプライアンスおよび金融犯罪対策（AFC）の責任を統合し、当行の管理体制をさらに進化させます。
- シュテファン・シモンは、米州ならびに法務およびグループ・ガバナンスの責任に注力します。

ドイツ銀行（銘柄コード XETRA:DBKGn. DB/NYSE:DB）は、本日、当行の監査役会が、ローラ・パドヴァーニをチーフ・コンプライアンス・オフィサーおよびアンチ・フィナンシャルクライム・オフィサーに任命した旨を発表しました。彼女は、7 月 1 日付でコンプライアンスおよび金融犯罪対策を担当することとなり、取締役会メンバーにも就任します。

パドヴァーニは、シュテファン・シモンが担当していたコンプライアンスおよび AFC を引き継ぎます。彼女の任命により、当行の管理体制の更なる進化と強化が図られます。シモンのリーダーシップの下で近年大きく前進したことを受け、より日常的な管理機能がビジネス・プロセスに再び組み込まれつつあります。この中で、パドヴァーニの豊富な経験により、管理部門は、事業部門の監視および精査に専念し、当行の管理機能の強靱性をさらに向上させることが可能となります。このようにして当行は業界のベストプラクティスに沿った管理フレームワークを構築しています。

シュテファン・シモンは、米州担当の取締役会メンバーとしての重要な役割に注力する一方、法務およびグループ・ガバナンスの責任者も兼任します。

ドイツ銀行の監査役会会長であるアレキサンダー・ワイナンツは、「ローラ・パドヴァーニは、14 カ月前にドイツ銀行に入社して以来、既に当行の管理体制の強化に大きく貢献しています。」と述べました。「彼女はまさに取締役会レベルで主要な管理機能を担う最適なタイミングに就任しました。」

また、ワイナンツは、「過去数年にわたって当行のコンプライアンスおよび AFC の構造的改善の確固たる基盤を築き、また優秀な人材を当行に迎え入れたシュテファン・シモンに感謝します。」と続け、「新しい体制により、彼は法務部門での責任に加えて、当行にとって戦略的中核市場かつ主要な成長地域である米州の発展にも取り組むことができるようになりました。」と述べました。

チーフ・エグゼクティブ・オフィサーのクリスティアン・ゼーヴィングは、次のように付け加えました。「ローラ・パドヴァーニに託された専門的な任務、および彼女の管理プロセスの開発における包括的な経験により、事業部門内における日常的な管理業務のより良い形での統合を可能とし、また、管理部門は全体的なフレームワークのさらなる改善に集中することができるようになります。そうすることにより、当行はベストプラクティスを実践し、長期的な視野に立った当行の管理体制を確立しています。」

パドヴァーニは、いくつかの大手金融機関においてコンプライアンスおよび AFC を担当する管理職を歴任した後、2023 年 4 月に、チーフ・コンプライアンス・オフィサーとしてドイツ銀行に入社しました。ドイツ銀行入社前は、彼女はバークレイズで 7 年間勤務し、リテール・バンキングおよびインベストメント・バンキングを含むビジネスの業務コンプライアンス・プロセスの責任者を務めた後、直近で

はグループ・チーフ・コンプライアンス・オフィサーを務めました。それ以前は、アメリカン・エクスプレスで 20 年間勤務しました。

パドヴァーニは、「この度はドイツ銀行の監査役会が私を信頼をもって迎えてくれたこと、また取締役会に加わることができたことを光栄に思います。」と述べました。「取締役会の皆様とより緊密に協力し、近年達成した重要な進展を基に、当行の管理体制をさらに強化するよう努めてまいります。」

ニタ・パテルは、パドヴァーニのリーダーシップ・チームの一員として、9 月 1 日付でドイツ銀行の AFC の責任者およびグループ・マネーロンダリング防止責任者に就任します。パテルは、ゴールドマン・サックス、野村證券およびベアー・スターンズを含む大手金融機関のコンプライアンス部門および AFC 部門において 25 年超の経験があります。直近では、クレディ・スイスのチーフ・コンプライアンス・オフィサーおよびグループ執行委員会メンバーを務めました。

パドヴァーニの後任として、現在プライベート・バンクおよび EMEA のコンプライアンス責任者ならびにビジネス選定およびコンフリクトオフィスの責任者であるグラハム・ケントがチーフ・コンプライアンス・オフィサーに就任します。ケントは、ドイツ銀行で約 20 年間のキャリアを持ち、法務をはじめとし、その後は投資銀行業務および UKI（イギリスおよびアイルランド）を含む当行の複数の部門でコンプライアンスを担当するなど、様々な上級管理職を歴任してきました。

パドヴァーニは、「ニタ・パテルは、業界で最も有名なコンプライアンスおよび AFC の専門家の 1 人です。」と述べました。「私たちは、彼女がドイツ銀行に加わり、私たちの管理体制をさらに進化させるために手助けをしてくれることを大変嬉しく思います。グラハム・ケントもまた、管理部門での豊富な経験とドイツ銀行に関する知識も持ち合わせています。コンプライアンスと AFC の強力なリーダーシップ・チームとして、2 人と一緒に働けることを楽しみにしています。」

パドヴァーニおよびパテルはともにフランクフルトを拠点とし、ケントは引き続きロンドンを拠点とする予定です。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資、資産運用の商品およびサービスならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

将来の事象に関する記述

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、当行の考えおよび予想ならびにその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行の経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。したがって、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当行はこれらの記述に関して、新しい情報または将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。したがって、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。

これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当行が収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当行の経営戦略の実施、当行のリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。

このような要因については、SEC に提出した当行の 2024 年 3 月 14 日付 Form 20-F の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該文書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。